

香燭 三寶礼 四奉請 懺悔燭

願わくは我が身淨きこと香炉の如く願
わくは我が心智慧の火の如く念念に戒
定の香を焚きまつりて十方三世の仏に
供養したてまつる 一心に敬つて十方
法界常住の仏を礼したてまつる一心に
敬つて十方法界常住の法を礼したてま
つる一心に敬つて十方法界常住の僧を
礼したてまつる 請じ奉る十方如来道
場に入りたまえ散華樂請じ奉る釈迦如
来道場に入りたまえ散華樂請じ奉る弥
陀如来道場に入りたまえ散華樂請じ奉
る觀音勢至諸大菩薩道場に入りたまえ
散華樂 我れ昔より造る所の諸の悪業
は皆無始の貪瞋痴に由る身語意より生
ずる所なり一切我れ今皆懺悔したてま
つる

南無阿弥陀仏

為

令和 年 月 日

淨写